



地域を守る防犯散歩・スクールガードボランティア

(ながら活動) への協力お願い

つくばみらい市社会福祉協議会
つくばみらい市区長会

1. 【目的】

地域を守る防犯散歩ボランティア(ながら)活動は、ウォーキングしながら、犬と散歩しながら、草刈をしながら・ジョギング・サイクリング等をしながら防犯の目印となるシンボルマーク入りの帽子・反射ビブスを着用していただくものです。

周囲に少し気を配りながら、ながら活動を行っていただくことにより、犯罪の抑止効果(人に見られる・声をかけられる事を嫌がるそうです。)が期待でき、地域の方々が地域全体を見守り、子どもからご高齢の方々が安全に安心して暮らせる環境を構築することを目的としています。

また、児童を犯罪から守る目的で登下校時に見守り活動をする「スクールガードボランティア」を小絹及び伊奈並びに富士見ヶ丘小学校通学地域において実施しています。

あいさつを通して地域住民相互のコミュニケーション(絆)の向上を図ることも目的の一つとしています。

2. 【注意事項・その他】

- ① 不審者・不審車両を発見したら、注意、声かけ、尾行等は行わず、直ちに常総警察署(110)へ通報してください。
- ② 活動中の怪我や賠償責任などについては、つくばみらい市社会福祉協議会が加入する「ボランティア活動保険」にて対応いたします。

3. 【申込み】つくばみらい市社会福祉協議会

ボランティア市民活動センター(保健福祉センター内) 25-2101
(申込用紙に必要事項を記入し提出していただきます。)



【裏面：常総警察署提供「誘導の手順」】

誘導の手順

早めに
大きく
はっきりと



1. 子どもを止まらせる

「まずは止まる」を習慣づける事が大事。

- ① 道路に対して水平に立ち、旗は左手で持ちます。
- ② 旗は子どもの前に出し、飛び出しを防止します。
- ③ 車両の流れや、右左折車をよく確認しましょう。



2. 車両に止まってもらう

停止させる権限はありません。
ドライバーとのアイコンタクトが大事。

- ① 信号が青になったら、旗を右手に持ち替え、前方斜め上に上げます。
- ② 右左折車の停止の確認をしたら、水平になるよう肩の高さまで旗を下ろします。
- ③ 左手は、子どもの前に出したまま、飛び出しを防止します。



信号あり

- ① 車両の流れが切れたら、旗を右手に持ち替え、前方斜め上に上げます。
- ② 車両の停止を確認したら、水平になるよう肩の高さまで旗を下ろします。
- ③ 左手は、子どもの前に出したまま、飛び出しを防止します。



信号なし

3. 横断を誘導する

急かしたり、青色点滅で横断させるのは厳禁。

- ① 安全を確かめたら、右手は旗を出したまま、左手で誘導します。
- ② 誘導中も立ち位置は変えず、視線は車両の動きに注意を払い、安全確認を続けましょう。



横断するときは、子ども自身にも安全確認をさせましょう。